副専攻名　地域研究[基礎]

副専攻のCP(カリキュラム編成方針)

世界各地で地域研究を行う上で必要な学問的基礎にあたる科目群と、ある地域についてのまとまった学習をする科目群から構成され、地域研究を行うための基礎的能力の獲得を目標とする。
10単位以上を選択履修する。

副専攻の学習成果

自己の専攻分野に加えて、世界各地で地域研究を行うえでの基礎的な知識とその学問に対する理解を得ることで、国際的な業務にかかわる際に効果的な役割を果たせるようになると期待される。

副専攻を構成する科目

科目番号	授業科目名	学生の学習目標	学年	開講期※1 前期	開講期※1 後期
16214	日本文化	戦後の代表的な日本人論・日本論に関する知識を習 得するとともに、日本文化の見方を身につける	1		
16414 (10091※2)	日本文化E		1		
52029	文化人類学概論A	文化人類学の基本的な考え方やものの見方を学び、自分とは異なる異文化・異社会の人びととの理解や協調の基礎作りをする。	3～4		
52030	文化人類学概論B		3～4		
52031	文化人類学講義	ラフ住民の「ラフ(人/民族)」についての語りを研究することにより、1)少数民族の経験(認識、感情、希望などの総体)2)他人について理解するために、その人たちが語る語りを研究することの有効性と限界について理解することを目的とする。	3～4		
52027	比較文化論A1	ロシアの歴史・社会・文化に触れ、その特殊性を知ると同時に、西欧近代もまた歴史的に特殊な状況であるということを理解する。文化テクストの多様な読み方を知る。	2～4		
52527	比較文化論A2		2～4		
52028	比較文化論B1	ロシア・ソ連の歴史・社会・文化に関する知識を身につける。文化テクストの多様な読み方を知る。	2～4		
52528	比較文化論B2		2～4		
36318	地理学概論A	地理学が対象とする地域に関する知識を深めることによって、地理学的なものの見方・考え方を理解し，さらに，経済・社会の実態と問題点について，人文地理学の観点から説明できるようになることを目標とする	2～4		
51010	世界地誌A	発展途上国における開発の在り方の問題点等を学ぶ	2～4		
51011	世界地誌B	発展途上国におけるあるべき開発像をさぐる	2～4		
52334	米英研究A1	アメリカの歴史、社会、文化に関する主要なテーマに関する理解が得られる。	2～4		
52834	米英研究A2		2～4		
52335	米英研究B1	アメリカ文化の潜在的な構造に着目し、具体的な根拠をもって独自の解釈を提示する能力を養う。	2～4		
52835	米英研究B2		2～4		
52345	アメリカ地域文化論1E	通史を扱う講義を通じ、アメリカ文学・文化についての基礎的な知識を習得することができる	2～4		
52845	アメリカ地域文化論2E		2～4		
52356	米英文化関係論1E	英語圏の文化・社会の存在様態についての基本的な知識を修得している。英語で書かれた文献を正確に読解し、確実な情報基盤を築く能力を有している。この二つが学生の学習目標である	2～4		
52856	米英文化関係論2E		2～4		
52347	イギリス地域文化論1E	19世紀から現代にかけてのイギリス文学史を理解することで、英語圏文化の理解に必要な知識を身につける	2～4		
52847	イギリス地域文化論2E		2～4		

副専攻名　地域研究[基礎]

副専攻のCP(カリキュラム編成方針)

世界各地で地域研究を行う上で必要な学問的基礎にあたる科目群と、ある地域についてのまとまった学習をする科目群から構成され、地域研究を行うための基礎的能力の獲得を目標とする。
10単位以上を選択履修する。

副専攻の学習成果

自己の専攻分野に加えて、世界各地で地域研究を行うえでの基礎的な知識とその学問に対する理解を得ることで、国際的な業務にかかわる際に効果的な役割を果たせるようになると期待される。

副専攻を構成する科目

科目番号	授業科目名	学生の学習目標	学年	開講期※1 前期	開講期※1 後期
52350	米英メディア文化論1E	アメリカ文化表象の深層にある集団的思考の方向性を具体的に考察し、論理的に提示する能力を養う	2～4		
52850	米英メディア文化論2E		2～4		
52337	米英政治・外交論1E	政治学及び国際関係の専門用語を理解したうえで、国際的な観点から英米関係の発展について考察する	2～4		
52837	米英政治・外交論2E		2～4		
52339	米英政治・外交論1	戦後国際政治史を詳細に検討する視野を身につける イギリス政治・外交論の授業を通して、イギリス外交を研究する意義を理解することができる それにより、日本とイギリスの比較、日米関係と英米関係の比較、日本／アジアとイギリス／ヨーロッパの比較の視点を養うことを可能にする	2～4		
52839	米英政治・外交論2		2～4		
52316	アメリカ経済論1E	アメリカ経済の構造や世界的役割を把握する	2～4		
52816	アメリカ経済論2E		2～4		
52359	英語圏文化論1E	英語圏の文化表象の考察をとおして現代の諸問題にかかわる価値観を分析し、それについて批判的に考えることができるようになる。	2～4		
52859	英語圏文化論2E		2～4		
52363	米英研究特論1	米英の文化的諸特徴に関して、通史的に理解できる	2～4		
52364	米英研究特論2		2～4		
16212	日本の思想と宗教1	仏教思想を中心に日本の思想と宗教に関する基礎的な知識と分析方法を習得する。	2～4		
16412	日本の思想と宗教2		2～4		
16213	日本史概説1	日本の近世史・近現代史に関する理解を深める。	2～4		
16413	日本史概説2		2～4		
16415	日本史概論1	日本史の基礎知識を身につけることで、日本に関する様々な情報を歴史的な観点から理解する	2～4		
16416	日本史概論2		2～4		
16014	日本経済論	日本資本主義の史的展開を通じて、日本経済の今日的課題を分析・説明する視角を身につける	2～4		
16265	日本民俗文化論1E	日本文化の理解を目指すために、日本国内外における人類学の研究調査に関する知識を養う。	2～4		
16465	日本民俗文化論2E		2～4		
16067	日本の文学	日本の文学伝統を具体的に理解する。	2～4		

副専攻名　地域研究[基礎]

副専攻のCP(カリキュラム編成方針)

世界各地で地域研究を行う上で必要な学問的基礎にあたる科目群と、ある地域についてのまとまった学習をする科目群から構成され、地域研究を行うための基礎的能力の獲得を目標とする。
10単位以上を選択履修する。

副専攻の学習成果

自己の専攻分野に加えて、世界各地で地域研究を行うえでの基礎的な知識とその学問に対する理解を得ることで、国際的な業務にかかわる際に効果的な役割を果たせるようになると期待される。

副専攻を構成する科目

科目番号	授業科目名	学生の学習目標	学年	開講期※1 前期	開講期※1 後期
16469	日本の古典文学1	・日本古典文学の代表的な古典がどのように古典として認知されてきたかを知る。 ・古典学の成果を踏まえて、新たな古典的作品がどのように創造されたかを知る	2～4		
16470	日本の古典文学2		2～4		
16471	日本の近代文学1	文学研究の基礎的な方法論にもとづき、日本近代文学を多角的にとらえることができるようになる。	2～4		
16472	日本の近代文学2		2～4		
16473	日本の現代文学1	日本近現代文学の短編小説を読み、「どのように語られているか」という観点から作品を読めるようになる。	2～4		
16474	日本の現代文学2		2～4		
52635	日本研究特論1	日本の社会・文化・言語等に関する様々な個別テーマについて学ぶ	2～4		
52636	日本研究特論2		2～4		
16475	日本研究特論1E	日本の社会・文化・言語等に関する様々な個別テーマについて英語で学ぶ	2～4		
16476	日本研究特論2E		2～4		
52132	日本思想史1	・高校倫理・日本史の知識をどう大学の研究に生かすか、を考える。 ・日常見過ごしている事柄から研究の発端を見つける。 ・日本思想史の基礎的知識を身につける	2～4		
52632	日本思想史2		2～4		
52133	日本史特論1	近現代の日本における大衆社会・大衆文化の形成と総力戦体制の構築について、近代都市史研究の視点で理解を深める	2～4		
52633	日本史特論2		2～4		
52201	東アジア史概説A1	中国史の時代区分についての基本的な知識を獲得する。唐から宋への変化とその中国史・東アジア史的な意味について学ぶ。中国史・東アジア史の基本的な用語についての知識を獲得する。	2～4		
52701	東アジア史概説A2		2～4		
52202	東アジア史概説B1	中国史、並びに東アジア史を理解するための基本的な知識を会得する。東アジアの特質を歴史的に理解できるようになる。中国における歴史的事象を、東アジア史という枠組みのなかで捉えられるようになることを目指す。	2～4		
52702	東アジア史概説B2		2～4		
52241	現代中国論A1	現代中国の政治を中心に、これと関連する社会・経済・歴史・文化についての知識を増やし、中国に対する理解を深める	2～4		
52741	現代中国論A2		2～4		
52242	現代中国論B1	現代中国政治史の知識を習得し、中国に対する理解 を深める	2～4		
52742	現代中国論B2		2～4		
52243	現代中国論1E	現代中国についての知識に基づいた自らの見解を構築し、それを英語で表現できるようになる	2～4		
52743	現代中国論2E		2～4		

副専攻名　地域研究[基礎]

副専攻のCP（カリキュラム編成方針）

世界各地で地域研究を行う上で必要な学問的基礎にあたる科目群と、ある地域についてのまとまった学習をする科目群から構成され、地域研究を行うための基礎的能力の獲得を目標とする。
10単位以上を選択履修する。

副専攻の学習成果

自己の専攻分野に加えて、世界各地で地域研究を行うえでの基礎的な知識とその学問に対する理解を得ることで、国際的な業務にかかわる際に効果的な役割を果たせるようになると期待される。

副専攻を構成する科目

科目番号	授業科目名	学生の学習目標	学年	開講期※1 前期	開講期※1 後期
52206	アジア経済史A1	現代中国についての知識に基づいた自らの見解を構築し、それを英語で表現できるようになる	2～4		
52706	アジア経済史A2		2～4		
52207	アジア経済史B1	農村の伝統的社会関係とその変容について、具体例を挙げてその特徴を説明できるようになる	2～4		
52707	アジア経済史B2		2～4		
52210	東アジア国際交流史1	自分たちが生きている地域についての理解を深め、国際化に対応した地域へのアイデンティティを形成する。グローバル化の時代に必要な歴史意識や価値観を身につける。	2～4		
52710	東アジア国際交流史2		2～4		
52211	東南アジア研究	少数民族、生態環境、近代国家形成、焼畑耕作、宗教、神話伝承、識字、アイデンティティなどの一般的な問題の理解を目指す	2～4		
52212	南アジア文化論	古代インド建築の特徴と宗教建築として空間を構成する原理を学ぶ	2～4		
52249	南アジア地域論	南アジア地域と文化人類学の基本的な考え方について理解することができる	2～4		
52213	仏教文化論	アジア、中央アジア、中国、そして日本で、仏教の文化がどのように伝えられたかを、浄土教の信仰と美術を通して知る	2～4		
52250	比較文化学概説A	南アジアの仏教美術を理解するとともに、人間の文化的所産としての宗教を、幅広い視野から考察することをめざす。あわせて、仏教の基本的な考え方を身につける。	2～4		
52251	比較文化学概説B	奈良、京都、鎌倉などを中心に、伝統的建築に対する理解を深める。	2～4		
52216	現代中国文化論1	現代中国の文化・社会に対する多元的・複合的な理解を深める。先入観を介さない柔軟な思考力を培う。	3～4		
52716	現代中国文化論2		3～4		
52244	中国の文化と社会1E	中国の文化や歴史上の事件に関する各論について理解し、自分の見解をもつ	2～4		
52744	中国の文化と社会2E		2～4		
52220	アジア研究特論A1	アジア諸地域の政治・経済・文化・歴史等に関する様々な個別テーマについて学び、アジアの多様性を理解する	2～4		
52720	アジア研究特論A2		2～4		
52221	アジア研究特論B1		2～4		
52721	アジア研究特論B2		2～4		
52268	アジア研究特論1E	アジア諸地域の政治・経済・文化・歴史等に関する様々な個別テーマについて英語で学び、アジアの多様性を理解する	2～4		
52768	アジア研究特論2E		2～4		

副専攻名　地域研究[基礎]

副専攻のCP(カリキュラム編成方針)

世界各地で地域研究を行う上で必要な学問的基礎にあたる科目群と、ある地域についてのまとまった学習をする科目群から構成され、地域研究を行うための基礎的能力の獲得を目標とする。
10単位以上を選択履修する。

副専攻の学習成果

自己の専攻分野に加えて、世界各地で地域研究を行うえでの基礎的な知識とその学問に対する理解を得ることで、国際的な業務にかかわる際に効果的な役割を果たせるようになると期待される。

副専攻を構成する科目

科目番号	授業科目名	学生の学習目標	学年	開講期※1 前期	開講期※1 後期
52245	東アジア社会と教育A1	比較教育社会学の基本的な考え方を学びながら、学校・家族・企業など教育活動が行われている場所を具体例に挙げ、東アジア地域における社会構造と教育のあり方や関連を歴史的に比較するための柔軟な視点を身につける。	2～4		
52745	東アジア社会と教育A2		2～4		
52246	東アジア社会と教育B1		2～4		
52746	東アジア社会と教育B2		2～4		
52054	人類学的異文化理解	文化人類学の視点から見た地域文化の多面的 な様相を，具体的事例検討を通じて把握する。	3～4		
53036	西洋近･現代史概説	ルネサンス期からフランス革命にいたるヨーロッパ近世史の諸相、とりわけ絶対主義国家の形成から市民革命の勃発に向かう展開を通じ、西洋近代主権国家の成立の歴史的意義を理解できるようになる。	2～4		
52489	現代ヨーロッパ社会論	ヨーロッパの現代社会が抱えているさまざまな問題についての分析・議論を通じて現代ヨーロッパについての理解を深める。それと同時に日本の現代社会への視座をも獲得する。	2～4		
52405	ヨーロッパの宗教1	ヨーロッパの宗教、特にキリスト教についての知見を広げ、ヨーロッパをよりよく理解できるようにする	2～4		
52905	ヨーロッパの宗教2		2～4		
52410	美術史1E	人間と美術との関係を考察するとともに、西洋の美術と文化に対する理解を深める	2～4		
52910	美術史2E		2～4		
52411	美術史3E		2～4		
52911	美術史4E		2～4		
51477	ドイツ文学史A1	ドイツ文学の歴史(ロマン主義まで)についての知見を獲得し、ドイツ文化をよりよく理解できるようになる	2～4		
51478	ドイツ文学史A2		2～4		
51479	ドイツ文学史B1	ドイツ文学の歴史(写実主義から)についての知見を獲得し、ドイツ文化をよりよく理解できるようになる	2～4		
51480	ドイツ文学史B2		2～4		
51481	フランス文学史A1	中世から18世紀までのフランス文学の歴史的背景を確認し、その内的発展と文学創造の必要性を理解できるようになる	2～4		
51482	フランス文学史A2		2～4		
51483	フランス文学史B1	19世紀から20世紀のフランス文学の歴史的背景を確認し、その内的発展と文学創造の必要性を理解する	2～4		
51484	フランス文学史B2		2～4		
52445	ヨーロッパ生活論1E	歴史、食文化、LGBT、移民、環境、エネルギー、ポップカルチャー、言語、観光、若者文化など現代ヨーロッパの生活の諸側面を概観する。	2～4		
52945	ヨーロッパ生活論2E		2～4		

副専攻名　地域研究[基礎]

副専攻のCP（カリキュラム編成方針）

世界各地で地域研究を行う上で必要な学問的基礎にあたる科目群と、ある地域についてのまとまった学習をする科目群から構成され、地域研究を行うための基礎的能力の獲得を目標とする。
10単位以上を選択履修する。

副専攻の学習成果

自己の専攻分野に加えて、世界各地で地域研究を行うえでの基礎的な知識とその学問に対する理解を得ることで、国際的な業務にかかわる際に効果的な役割を果たせるようになると期待される。

副専攻を構成する科目

科目番号	授業科目名	学生の学習目標	学年	開講期※1	
				前期	後期
52446	ヨーロッパ研究特論1	ヨーロッパ圏をめぐる様々な課題についての理解を深める	2～4		
52946	ヨーロッパ研究特論2		2～4		
52447	ヨーロッパ研究特論1E	フランス語の構造を理解し、英語についてもより深い知識をえる	2～4		
52947	ヨーロッパ研究特論2E		2～4		
52448	ヨーロッパ研究特論3E	イタリア語文法、イタリア語会話の基礎を英語で学習しつつ、それを通じてヨーロッパ文化の源流ともいうべきイタリア文化を学ぶ	2～4		
52948	ヨーロッパ研究特論4E		2～4		
53037	ヨーロッパ歴史特論A	15-16世紀イタリア社会につき、その時代区分概念をつかむとともに、政治・経済など諸側面にわたりその特徴を学ぶ。	2～4		
53038	ヨーロッパ歴史特論B	パーシャル美術展企画運営体験を通じて、美術史に関する基本知識や美術鑑賞のポイント・意義について学ぶとともに、事業企画・運営のセンスや実務能力を涵養する	3～4		
52470	ヨーロッパ文化特論A1	フランス語圏の歴史を縦軸に、フランス語圏の実情、文化について考察し、フランス語圏についての理解を深める。	2～4		
52970	ヨーロッパ文化特論A2		2～4		
52471	ヨーロッパ文化特論B1		3～4		
52971	ヨーロッパ文化特論B2		3～4		
52472	ヨーロッパ社会特論A1	グリム童話に代表されるドイツの童話を素材に、ヨーロッパ的心性とは何かを探る	2～4		
52972	ヨーロッパ社会特論A2		2～4		
52473	ヨーロッパ社会特論B1	ドイツを素材として現代ヨーロッパの社会的諸問題を考察する	3～4		
52973	ヨーロッパ社会特論B2		3～4		
52490	ヨーロッパ社会特論CE	北欧社会や文化の知識を習得し、異文化理解を深める。	2～4		

※1　開講期は、Webシラバスでご確認ください。
※2　学域GS科目として履修する場合の科目番号